



最終ドラフト – 非発表用

オープンソースの車載娯楽情報機器プラットフォームの開発に向けて、世界的なテクノロジーリーダーによる GENIVI アライアンスが発足

*業界内のコラボレーションにより、開発コストを圧縮しながら
技術革新を加速し、市場投入時間を短縮*

【サンラモン(米国カリフォルニア州)2009年3月3日】有力な自動車メーカーと供給業者は本日、オープンソースの車載インフォテインメント(IVI)標準プラットフォームの開発と広範な採用を進める非営利組織、GENIVI アライアンスの結成を発表した。新しいアライアンスはIVI市場に投資し、技術革新を進めるため、業界をリードする自動車、家電(CE)、通信、アプリケーション開発の各企業を一体化するものである。これにより、製品の市場投入時間と総所有コストがともに短縮されることになる。

GENIVI アライアンスの創設メンバーであるBMWグループ、デルファイ、ゼネラルモーターズ(GM)、インテル、マグネティ・マレリ、PSA プジョーシトロエン、ビステオン、ウィンドリバーの各社は、製品ラインと世代を超えた拡張性を有し、共通ソフトウェア・アーキテクチャーとなる共有のGENIVIプラットフォームを生み出すために協働する。GENIVIプラットフォームは、自動車メーカーが新しいソリューションを提供できるペースを加速し、消費者のライフスタイルに一段と接近させて、接続サービスなどの新しいビジネスモデル作りを迅速化するものである。

BMWグループのインフォテインメント・コミュニケーション・システムズ部門の統括マネージャーで、GENIVIのスポークスマンを務めるグラハム・スメサースト氏は「GENIVIは、占有ソリューションといった伝統的なアプローチに挑戦し、この部門ではまだ見たことのないレベルの創造性を生み出す。まったく差別化されない領域のアーキテクチャーにおいて共通の標準プラットフォームで協働することで、GENIVIのメンバーは革新的な顧客向け機能の開発と統合に注力することができる」と語った。

また、GMのグローバル・エレクトロニカル・システムズ・コントロールズおよびソフトウェア部門の専務取締役であるハンスゲオルク・フリッシュコーン氏は「共通の標準プラットフォームを持つことは、革新的かつ高度の車載エンターテインメント・アプリケーションにとって極めて重要である。GENIVIアライアンスはこれを可能にし、業界パートナーと緊密に協力して開発コストを共有し、製品市場化への全体的スピードを向上させることができる」と述べている。

さらに、PSAの技術革新分野担当マネージャーのジェルフ・キンケリン氏は「自動車業界は、自由競争と完成度の高い技術に対する不要な作業の繰り返しを回避して、持続的に効

率性を向上させる必要があり、これは現在の経済環境ではとりわけ重要である。私たちは、GENIVI がオープンな環境を通じてビジネスの効率を進め、現在想像しうるものをはるかに超えるリッチなエコシステムを育てるために、まさに適切なフォーラムであると固く信じている」と強調した。

GENIVI プラットフォームは、これまで業界内で重複していた IVI 開発プロセスの各要素の流れを円滑に進めることになる。オープンソース・プラットフォームで自動車業界を緊密に提携させることで、自動車メーカーと供給業者は差別化製品とサービスを構築でき、これまでは自動車分野への参入が難しかった企業にも機会を生み出すという共通基盤を提供する。

オープンソースの GENIVI プラットフォームの開発は順調に進んでおり、今年の夏には初の技術的成果が発表される予定である。この成果は、インテル（登録商標）・アトム（Atom、商標）・プロセッサとウインドリバー・リナックスで動作する試験済みかつ実証済みの自動車向け試作品に基づいており、GENIVI メンバーによって過去 18 カ月にわたって開発されたものである。この標準プラットフォームの実装は、開発者間の技術革新を促進させるため、オープンソース・コードで利用できるようになる。

GENIVI アライアンスのメンバーである BMW グループのグラハム・スメサースト氏は、今年 3 月 5 日にドイツ・ハノーバーで開かれる国際情報通信技術見本市（CeBIT）会議で基調講演を行い、GENIVI が果たす役割に重点を置きながら自動車エコシステムにおける IVI ソリューションの発展と開発について説明する。基調講演に次ぐパネルディスカッションでは、メンバー企業の講演者たちが GENIVI プラットフォームを取り巻くビジョンとイニシアチブを紹介する。これらの活動はオープンソース・フォーラム（ホール 6、ルームナンバー E 50）で午後 2 時から 3 時半に行われる。

詳しい情報または GENIVI メンバーになるための情報は、www.genivi.org を参照。

GENIVI アライアンスについて

GENIVI アライアンスは非営利の業界団体であり、その使命は車載インフォテインメント（IVI）のオープンソース開発プラットフォームの幅広い採用を促進することにある。GENIVI は、必要条件を調整して標準プラットフォームの実装を進め、認証プログラムを提供し、活気のあるオープンソース IVI コミュニティーを育てることで、この使命を実現していく。GENIVI の努力は、開発サイクルの短縮、製品の市場投入時間の迅速化、IVI 機器とソフトウェアを開発する企業のコスト削減をもたらす。GENIVI（www.genivi.org）の本部所在地は、米国カリフォルニア州サンラモン市である。

問い合わせ先

Earlene Tang (GolinHarris)
+1-714-662-5115,
etang@golinharris.com,
GENIVI アライアンス担当

記事内容を支える追加の引用文

デルファイ・エレクトロニクス・セーフティー・ディビジョン内のエンターテインメント・コミュニケーションズ製品ビジネス部門担当統括責任者であるケン・エリクソン氏は「オープンソース・コミュニティーの緊密な提携は、インフォテインメントにおけるデルファイの成功にとって重要である。自分の車に斬新で素晴らしいインフォテインメント製品を持ちたいという消費者の期待があり、機器とコンテンツ、配信手段を同時に開発する結果になった。オープンソース・プラットフォームの開発によって、私たちは技術革新のペースを速め、顧客が車に期待する現実的なインフォテインメント・ソリューションを提供することができる」と語った。

マグネティ・マレリのエレクトロニック・システムズ部門長のジュゼッペ・ロツソ氏は「マグネティ・マレリは、インフォテインメント市場で高まる複雑さに対応するため、長年、オープンシステム概念で作業を進めてきた。このアプローチは、より環境に優しく安全性を統した走行という問題に対応し、OEM 各社が求める市場化時間の短縮という課題に欠かせない。GENIVI は、私たちの努力を一つの方向に集中する大きな機会となる」と述べている。

ビステオンのオーディオ・インフォテインメント・システムズ部門でグローバルディレクターを務めるクリスチャン・フェルトジェン氏は「GENIVI によって、開発時間枠は劇的に短縮することができ、提供コンテンツも拡大する。ビステオンはオープンソース・プラットフォームを採用することで、当社の中核的な知識と能力である車載知的財産に対する努力に傾注でき、より多くの消費者向け機能とサービスを組み込むため、さらに広がる開発コミュニティーが供給するソフトウェアを活用できる」と語った。